

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●ワールドオールスタージョッキーズはC.ルメール騎手が優勝

8月25日(土)の2回札幌3日と翌26日(日)の2回札幌4日に「2018ワールドオールスタージョッキーズ」の計4戦が行われ、クリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)が9着、1着、5着、1着で72ポイントを獲得、初優勝を果たしました。またチーム対抗戦では265ポイントを獲得したJRA選抜が188ポイントのWAS選抜(外国騎手・地方競馬代表騎手チーム)を抑えて優勝しています。

### ●池添謙一騎手がJRA通算1100勝を達成

8月26日(日)の2回新潟10日・第4レースではルソンドュレーヴが1着となり、同馬に騎乗した池添謙一騎手(栗東・フリー)は、史上31人目、現役では15人目となるJRA通算1100勝(1万1972戦目)を達成しました。

### ●藤田菜七子騎手がJRA女性騎手通算最多勝記録を更新

8月25日(土)の2回新潟9日・第12レースではセイウンリリシイが1着となり、同馬に騎乗した藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)は、JRA通算35勝目をあげました。これは増沢(旧姓・牧原)由貴子元騎手の34勝を抜き、JRA女性騎手の通算最多勝記録となります。またこの勝利でJRA年間15勝となり、藤田騎手自身が昨年達成した14勝を抜いてJRA女性騎手の年間最多勝記録も更新しています。

### ●クロフネ産駒がJRA通算1300勝を達成

8月26日(日)の2回小倉10日・第8レースではブラックランナーが1着となり、クロフネ産駒のJRA通算勝利数が1300勝となりました。これは史上9頭目の記録となります。

### ●ジョッキーベイビーズの東北・新潟地区および関西地区代表が決定

8月18日(土)、福島競馬場で全国ポニー競馬選手権「第10回ジョッキーベイビーズ」の東北・新潟地区代表決定戦が実施され、加藤雄真くん(中学1年生・福島乗馬スポーツ少年団)が地区代表に選出されました。また翌19日(日)、三木ホースランドパークで実施された関西地区代表決定戦「みっきいポニーレース」では、岡航世くん(中学1年生・水口乗馬クラブ)が地区代表に選出されました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド門別の結果

ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド門別は8月23日に行われ、第1戦は井上敏樹騎手(美浦)、第2戦は木幡巧也騎手(美浦)が優勝しました。

### ●WASJで桑村真明騎手(北海道)は第11位

8月25、26の両日に札幌で4レースのポイント制で実施された2018ワールドオールスタージョッキーズに、地方競馬代表として出場した北海道の桑村真明騎手は、10、7、6、8着という成績で第11位タイでした。

### ●クロスケが黒潮盃(大井)で重賞初制覇【各地の主要3歳重賞】

黒潮盃(8月15日、大井、1800円)は、中団から差を詰めた2番人気のクロスケ(牡、父キャプテントウレ)が、先に抜け出した1番人気のクリスタルシルバーをゴール寸前にアタマ差捉えました。MRO金賞(8月9日、金沢、1900円)は、7番手から追いつけた笠松からの遠征馬ドリームスイープ(牡、父ミリオンディスク)がゴール前で差し切り、1番人気に負えています。加賀友禪賞(8月21日、金沢、1300円、牝馬)は、1コーナー過ぎに先頭を奪った5番人気のアイムホーム(父ケイムホーム)が、単勝1.9倍で断然人気のペニテンテスを5馬身引き離し、圧勝を収めました。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1インターナショナルS~ロアリングライオンがG1連勝

8月22日にイギリスのヨーク競馬場で行われたG1インターナショナルS(3歳上、芝10<sup>00</sup>56<sup>00</sup>)は、O.マーフィー騎手を背に内ラチ沿いの5番手を進んだロアリングライオン(牡3歳、父キトゥンズジョイ、J.ゴスデン厩舎)が直線で抜け出すと、G1「キングジョージ」の覇者ポエッツワードに3馬身 $\frac{1}{4}$ 差をつけて優勝しました。ロアリングライオンはこれで前走のG1エクリプスS(芝9<sup>00</sup>209<sup>00</sup>)に続くG1連勝です。なお、この翌日に同競馬場で行われたG1ヨークシャーオークス(3歳上牝、芝11<sup>00</sup>188<sup>00</sup>)はG1愛オークスの勝ち馬シーオブクラス(牝3歳、父シーザスターズ、W.ハガス厩舎)が最後方から差し切って優勝。G1凱旋門賞の前売り1番人気に浮上しました。

### ●G1トラヴァーズS~カトリックボーイがダートでもG1制覇

G1トラヴァーズS(3歳、ダート10<sup>00</sup>)が8月25日に米ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われ、2番手から直線で抜け出したカトリックボーイ(牡3歳、父モアザンレディ、J.トーマス厩舎)がG1ブリーダーズCジュベナイルターフの勝ち馬メンデルズゾーンに4馬身差をつけて優勝。前走のG1ベルモントダービー招待S(芝10<sup>00</sup>)に続いて、今回はダートでG1勝ちを収めました。